

スマトラ沖地震被災地に義援金\$10万

届け！心の連帯

タイ（バンコク）の労組を慰問

JR総連とJR東労組は、史上空前といわれるスマトラ沖地震による津波被害を受けた被災者を支援するため、1月19～20日にタイ（バンコク）を訪問。タイ国鉄労組（SRTU）とビルマ海員組合（SUB）にJR総連・JR東労組から10万ドルと、JR東日本情報システム労組からの義援金を直接届けました。



タイ国鉄労組事務所にて

タイ国鉄労組ソムサック委員長

津波の犠牲者たちへの支援に感謝する。JR総連・JR東労組からの支援は組合員に報告したい。被災したタイ南部の人達へ寄付をしたい。プーケットでは、タイ労働者約1,000人が、家族も含めると5,320人が犠牲になった。その他に現在も約4,000人が行方不明で犠牲者の数は合計約10,000人になる。20万人の人々が失業（雇用問題）の影響を受けている。観光客は通常の約10%程度におちこんでいる。プーケットの労働組合を支えている人々は、支援物資を受け取っていない。心配している。日本政府から5億ドルの支援に感謝しているが、新自由主義ビジネスの影響で政府間での支援は困っている人の手に届かない。タイ南部にはイスラム教徒が居住しているが、津波の混乱で「テロ」が心配されている。組合員は南部の乗務に不安を持っている。アジア太平洋地域の連帯をつくりたい。リーダーたちを日本に連れていき、いろいろなことを学ぶ機会をつくりたい。

ビルマ海員組合アウントゥヤ書記長

JR総連、JR東労組の支援に感謝する。特に漁業労働者の被害が大きい。先週、現地に視察に行ったが、ビルマからの出稼ぎ労働者は大きな被害を受けていた。支援金は被害を受けた人たちのために使いたい。3万人の出稼ぎ労働者がタイ南部（バンナムケン）にいた。ある村は、村ごと流されてしまった。南部の漁村は漁業が唯一の産業で、15,000人が漁業労働者だ。亡くなった人の数は正確には把握できていない。タイ当局に調査を要請しているが、多くのビルマ人は未登録（「不法」就労をせざるを得ない状況）だからである。タイ人の漁業労働者は800人が死亡たとされているが、実際の漁業労働者はもっと多数である。ビルマ海員組合はJR総連・JR東労組からの支援を受けて、必要としている援助にあわせた支援、働く環境の再建（漁業など産業基盤の再建、労働許可証などの労働環境）の基本方針で活動したい。

それぞれの労組から上記のとおり被災状況の報告とお礼が述べられました。JR総連は今後も現地の労働組合と情報交換をしながら、今後も被災者への援助を継続することとします。

（被災国となったインド、スリランカ、インドネシアにも友誼労組と連絡をとって支援をおこないます）